



# 廃棄物分野における国際協力

横浜市では、海外諸国・都市における廃棄物に関する課題解決に貢献するため、海外からの視察の受入れや研修を実施し、これまで本市が培ってきた経験や分別・リサイクルのノウハウ、市民・事業者・行政が連携して進める取組の紹介等を行っています。

## 1 Y-PORT事業を通じた支援

横浜市は、横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力（Y-PORT事業）に取り組んでいます。

その一環として廃棄物分野では、現在、主にベトナム国ダナン市において、国際協力を行っています。

ダナン市では人口増加・経済発展に伴うごみの量の増加が著しく、最終処分場のひっ迫が課題となっていることから、2017年3月から2020年3月まで、JICA 草の根技術協力事業として、分別・リサイクルなどに関するノウハウ・経験の共有を行うため、横浜での研修や現地への専門家派遣を行いました。

本事業は、2022年3月から第2期事業が開始され、今後は、ダナン市における廃棄物のデータ収集・管理や、ごみと資源の収集体制強化について協力していきます。



ダナン市における資源回収の様子

## 2 アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)を通じた支援

2017年4月に、環境省、JICA、横浜市、国連環境計画(UNEP)、国連人間居住計画(UN-HABITAT)、アフリカ各国・都市が共同で、アフリカにおける廃棄物に関する知見の共有、SDGs(持続可能な開発目標)の推進等を行うための場として「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)」を設立しました。

そのなかで横浜市は、これまでの廃棄物管理の知見や取組が評価され、日本における研修の拠点として位置づけられており、アフリカ各国の廃棄物行政の担当者を対象に、年2回程度、研修を実施しています。



横浜市での研修の様子

## 3 国際会議等への出席

廃棄物分野に関する国際会議等に参加し、海外諸都市の状況を把握するとともに、横浜市の廃棄物管理の取組について、知見を伝えています。国際会議等への参加を通じて、新興国などにおける廃棄物に関する課題解決への貢献や国際社会における横浜のプレゼンス向上につなげていきます。